

## 水木しげる氏

### 表紙絵

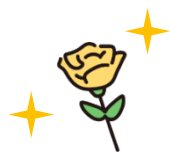
＝<sup>ほうき</sup>箒を貸してくれないか？＝

表紙絵：水木しげる

・ 特集：若葉分館50周年	2～3
・ 講演会・読書会のお知らせ	4
・ スマホでかんたん予約	5
・ 小学生読書会会員に人気の本	6
・ イベントスケジュール	7
・ 郷土の歴史と伝承	8

※音声版、マルチメディアDAISY版もあります。ご希望の方は図書館へお問合せください。

あ り が と う !



# 若葉分館 50周年



若葉分館は、昭和50（1975）年に、市内で9番目の図書館として開館しました。地域の皆様に支えられて、今年で50周年を迎えました。これからも使いやすい図書館で在り続けられるよう努めてまいります。

## 若葉分館ってこんなところ！

若葉分館は、仙川駅から徒歩15分、若葉小学校の隣にある2階建ての図書館です。豊かな自然に囲まれ、また、近隣の小中学生たちの元気な声も時折届き、明るく落ち着いた雰囲気が流れています。

### 【開館当初の若葉分館】



4月の子ども室開館の日には、入口のガラス扉の前に、多くの子どもたちが押し寄せ、若葉分館が開くのを心から楽しみに待っていました。当時の職員の日誌にも、利用者の期待に応えたいという決意が書き残されています。



### 【現在の若葉分館】



## 開館した頃は・・・

1975年3月に開館式を行った後、4月に子ども室が開館し、7月に全面開館しました。

### 【開館を待つ子どもたち】



## 開館50周年記念事業

### ●写真パネル展示 4月23日(水) ～7月27日(日)

若葉分館1階の階段壁面で、開館当初の写真パネルを展示しました。中には、「これ、自分が写っていると思うんだよ」とお声をかけてくださった方もいて、若葉分館が長く親しまれてきたことを感じました。



### 【こんなシールをプレゼント!】



### ●「夏のスペシャルおはなし会」

7月27日(日)

今年は、調布市の市制施行70周年でもあります。そこで、若葉分館開館50周年と調布市制施行70周年を記念して、スペシャルおはなし会を開催しました。普段の水曜日のおはなし会にはなかなか来られない子どもたちも来てくれて、みんなで絵本や手遊びを楽しみました。来てくれた子どもたちには、調布市オリジナルの70周年記念シールと、図書館公式キャラクター「じろ」の大きなシールをプレゼントしました。

### ★若葉分館の定例のおはなし会もぜひご参加ください!★

**幼児向け**：毎週水曜日15時～15時30分

**小学生向け**：毎週水曜日15時30分～16時

**0・1・2歳向け**：毎月最後の金曜日11時～11時30分

※おはなし会の日時は、図書館ごとに異なります。若葉分館以外の館で参加される場合は、図書館ホームページ等でご確認の上、おでかけください。

絵本や手遊びなど  
一緒に楽しもう♪



### ●若葉分館50周年記念事業は、まだまだ続きます!!

令和7年度の間、まだまだ記念事業を企画予定です。図書館のホームページや若葉分館の館内などでお知らせしますので、ぜひご参加ください!

# 📖 📖 📖 講演会・読書会のお知らせ 📖 📖 📖

市民の読書活動の推進を目的に生涯学習団体「アカデミー愛とぴあ」と協力し、講演会や読書会を開催しています。講演会・読書会のテーマにご興味をお持ちの方、ぜひご参加ください。

## < 講演会 >

話題の事柄や多くの方が関心のある共通課題をテーマに講演会を開催しています。

### 今後開催予定の講演会

- ❖ 10月29日(水)14:00~16:00 たづくり大会議場  
『韓国文学の中心にあるもの—ハン・ガン氏をはじめ韓国の作家による作品から見えてくるもの—』 斎藤真理子氏



毎年2月に開催している「調布樟(くすのき)まつり」では文化・文芸講演会、短歌大会等を開催し、毎年多くの方に来場いただいています。詳細は1月20日号の市報又は調布市立図書館のホームページでお知らせします。

### 令和7年度 これまでに実施した講演会

- ❖ 『岡倉天心と万国博覧会—シカゴ万博を中心に—』 岡倉登志氏
- ❖ 『平和と俳句を考える—沈黙を拒む俳句』 角谷昌子氏

## < 読書会 >

一冊の本を読んで各自の感想や意見を交換し、本の理解を深めます。今後の令和7年度読書会は10月・11月・12月・1月・3月に開催予定です。

### 今後開催予定の読書会

- ❖ 10月11日(土)10:00~12:00 たづくり602会議室  
『夫婦善哉』 織田作之助著
- ❖ 11月12日(水)14:00~16:00 たづくり601会議室  
『私のすすめるこの1冊in読書会』



読書会は、新しい本の出会いやいろいろな人との交流があります。最新の情報は市報又は調布市立図書館のホームページをご覧ください。

### 令和7年度 取り上げた作品

- ❖ 『濃東綺譚』 永井荷風著
- ❖ 『グスコブドリの伝記』 宮沢賢治著
- ❖ 『桜島』 梅崎春生著
- ❖ 『舟を編む』 三浦しをん著



# ～スマホでかんたん予約～

★事前に用意するもの★

①利用カードの番号

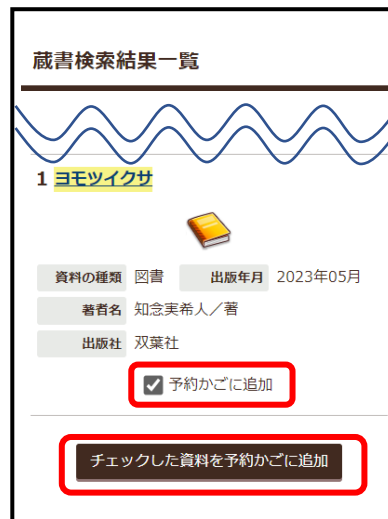


②パスワード

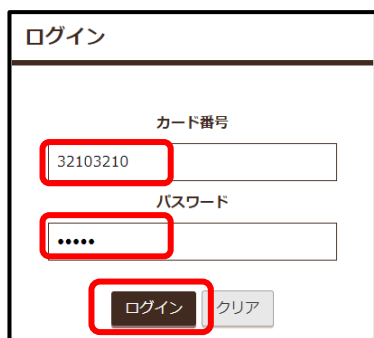
未登録の方は以下のQRコードから登録ください。



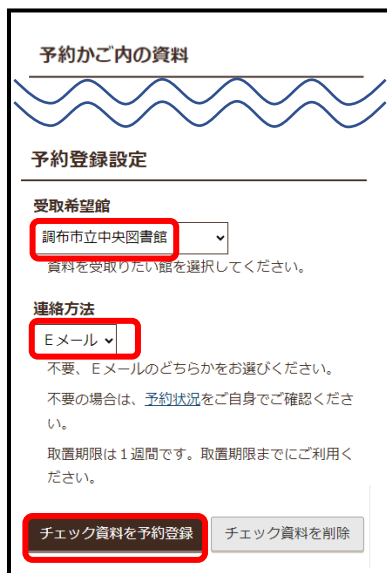
③本の題名を入れたら「検索」ボタンをタップ



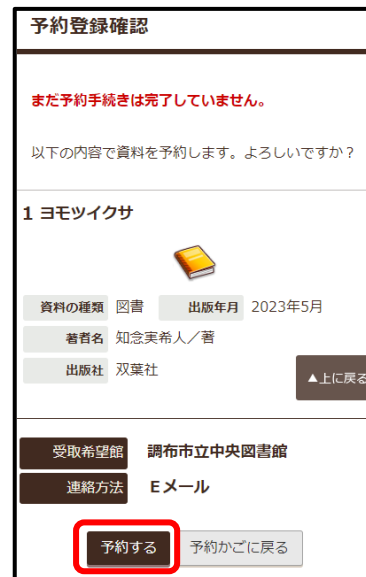
④予約したい本の下の「予約かごに追加」にチェックし「チェックした資料を予約かごに追加」をタップ



⑤利用カードの番号とパスワードを入力して、「ログイン」をタップ



⑥受取希望館と連絡方法を選んで「チェック資料を予約登録」ボタンをタップ



⑦確認画面で「予約する」ボタンをタップ  
⇒以上で予約完了です！

# ★小学生読書会 会員に人気の本★

## □「小学生読書会」とは？

図書館職員による本の紹介(ブックトーク)やストーリーテリング(本を見ずにおはなしを語ること)などを通して、はば広く本の楽しさを知ってもらうための会です。本を使ったゲームやクイズ(アニメーション)もしています。調布市立図書館の利用カードを持っている4・5・6年生を対象に、毎月1回行っています。

## □どんな本を紹介しているの？

令和6年度は、「なんでこうなった？ ふしぎなはなし」「紅葉の季節！自然のはなし」などのテーマで本を紹介しました。

調布市立図書館が発行している『小学生にすすめる本』や、新しく出版された本の中からおすすめの本を選んで紹介しています。

3月には、会員に1年間で最も印象に残った本をアンケートで聞いています。

## ▼令和6年度に会員に人気があった本・令和7年度に貸出の多かった本▼

### <令和6年度>

- ・テーマ「暑いときにはこれ！ こわ～いはなし」(7月)で紹介した本から



#### ストーリーテリング『金の腕』

(『おはなしのろうそく22』東京子ども図書館編 東京子ども図書館より)  
純金の右腕をもつ妻が死んだあと、夫がこっそりお墓を掘り返し、妻の死体から金の腕を切り取って家へ持って帰り…。読書会では、怖い本の紹介の後に部屋を暗くして語り、怖いお話が大好きな会員に、とても喜ばれました。

- ・テーマ「きみは何が好き？ 映画・劇を楽しもう」(2月)で紹介した本から



#### 『ゴジラ誕生物語』(山口理著 文研出版)

初めての本格的な特撮怪獣映画を作った人たちを追ったノンフィクションです。ミニチュアや着ぐるみなど、当時の撮影の様子が見えると、会員の子供たちは、とても興味深く見ていました。1年間で一番印象に残った本に挙げる会員も多くいました。

### <令和7年度>

- ・テーマ「ひらめいた！ あたまを使ったはなし」(6月)で紹介した本から



#### 『ぼくは学校ハムスター 1 ハンプリーは友だちがかり』

(ベティ・G・バーニー作 尾高薫訳 ももろ絵 偕成社)  
小学校の教室で飼われることになったハムスターのハンプリー。人の言葉がわかる賢いハンプリーは、学校で出会った困りごとにこっそり手を貸していて…。ハムスターが嫌いな担任の先生に受け入れてもらえるのか、先が気になって手に取る会員が多くいました。

令和7年11月以降は、「どんな家に住みたい？」「おいしいものたくさん！」などのテーマで、本を紹介します。秋以降も定員に余裕があるときは入会することができますので、気になった方は図書館ホームページをご覧ください。



# イベントスケジュール



10月から12月までの図書館の行事予定です。詳しくは、図書館ホームページ  
または館内のポスター、市報等をご確認ください。

10月	11月	12月
11日(土) 10月の読書会「夫婦善哉」 たづくり602会議室 10時～12時	5日(水)～2月15日(日) めざせ70こ！！染地分館スタ ンプラリー 染地分館	6日(土) 12月の読書会「テキスト未定」 たづくり601会議室 10時～12時
18日(土) 暮らしに役立つ法務ミニセミナ ー第1回「はじめて学ぶ終活」 たづくり1001学習室 10時30分～12時	12日(水) 11月の読書会「私のすすめるこ の1冊 in 読書会」 たづくり601会議室 14時～16時	10日(水) 冬のスペシャルおはなし会 中央図書館（たづくり映像シア ター）、調和分館、若葉分館 15時～15時30分
29日(水) 文芸講演会 斎藤真理子氏「韓 国文学の中心にあるもの」 たづくり大会議場 14時～16時 ..... 秋のスペシャルおはなし会 若葉分館 15時～15時30分 ※幼児・小学生合同	15日(土) 暮らしに役立つ法務ミニセミ ナー第2回「はじめて学ぶ成年 後見」 たづくり1001学習室 10時30分～12時	19日(金) 冬のスペシャルおはなし会 神代分館 11時～11時30分 15時～15時30分
	22日(土) 中央図書館利用者懇談会 たづくり601/602会議室 14時～16時	24日(水) 冬のスペシャルおはなし会 染地分館 15時～15時30分
	27日(木) 調和分館利用者懇談会 地域開放棟会議室 14時～16時	29日(月)～1月3日(土) 年末年始休館
	29日(土) 子どもの本に親しむ会 たづくり大会議場 13時15分～15時	
<b>11月</b>		
3日(月) 祝日おはなし会 調和分館 15時～15時30分		



## 石にやどる神と不思議な力

関口 宣明のぶあき

はじめに

多摩川（玉川）のような大きな河川がある地域では、川の石には「神霊がやどる」「病気を吸い取る」などと信じられていました。奥多摩から流れてきた岩石は、長い年月をかけて川を転がるうちに角がとれ、玉石になったものが調布近辺の川原にも見られます。「たま」という言葉には、「玉」「魂」「霊」が密接に重なりあっており、特に丸い形の良い石は神が選んだとされ、霊力がやどると考えられていました。

## 1. 石は神霊のこもる器

旧金子地域（西つつじヶ丘あたり）では、稲荷神いなりの祠ほこらに納める玉石は「おみたま」とよばれ、二月初午はつうまの祭りのときに神がやどるとされ、大事に扱われてきました。180年前、上石原地区

の旧家でも稲荷神のご神体として玉石が祀られました。この神は、五穀豊穡や土地を守るとされ、のちに祠を片



厄除け稲荷の玉石

付けることがあれば、神がやどるものを粗末に扱えないと、石はその場に埋めておくそうです。

多摩川の中流から下流にかけて特徴的に行われる小正月行事にドンド焼きがあります。洪水や疫病などから村の安全を守る塞さいノ神を祀るもので、ご神体は玉石など、形や色に特徴のある石です。この石はふだん畑の中に埋められていました。その石の上に、子どもたちが集めたワラや竹で小屋を作り、ドンド焼きで焼き払ってもろもろの災厄を防ぎました。塞ノ神には、川の恵みを与える反面、洪水を起こすといわれた水神の性格も認められます。

## 2. 石の治癒力

医療の整わなかった時代、農家の人々にとって、身体の不調は生活をおびやかす深刻なものでした。石を病のある部位にあてたり、枕元に置いたりする民間療法は各地に残っています。

疫病よけの神とされる深大寺野ヶ谷のがやの諏訪神社には、かつて境内の箱に小石が積まれていました。人々はそれらの石を借りて身につけ、病気治しの願掛けをし、願いがかなうと倍返し（身に付けた石と同じ数の石を加えて積む）にしました。

## 3. 石を通した神仏とのやりとり

石に神仏の像を彫刻するようになると、願掛けはより直接的になります。例えば上石原地区の甲州街道沿いにある地蔵こしんや庚申の石仏に、自分の具合の悪い所と同じ所を石でたたいて病気平癒を祈願した伝承があげられます。練馬にも石仏を石でたたく音から、「関のカンカン地蔵」とよばれ、江戸時代から信仰された地蔵があります。逆に神霊から人に対して意思をしめすときもありました。それは国領の農家の敷地にある杉の木の上から石が降ってきたとき、不思議とケガをしなかったことから天狗しわぎの仕業といわれたそうです。

硬く後世まで残る石とはことなり、生身の人間は弱い存在です。だからこそ「永続」や「大地との一体化」のシンボルである石は、人の緊張や不安を和らげる力をもっていました。こうして、人々の祈りを引き受けてきた石は、人と自然をつないできた信仰のかたちとして、今も土地の記憶に息づいています。

※参考文献：『調布市史 民俗編』調布市  
『昭島市史』昭島市  
『石井稲荷とその一苗』石井隆

刊行物番号

2025-115

図書館だより 第276号

令和 7年9月25日発行 [市内印刷]

発行 調布市立図書館

〒182-0026 東京都調布市小島町2-33-1

TEL 042-441-6181

<http://www.lib.city.chofu.tokyo.jp/>